東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリーテーマ

ロータリーを
実践し
みんなに
豊かな人生を

Vol.47　第2278回例会　2013.9.12

今年度会長テーマ　話と和で輪を広げ　ロータリーをもっと身近に

■司会：
山本例会運営委員長

■点鐘：野村会長

■合唱：ロータリーソング
「我等の生業」

◆ソングリーダー：
野澤会員

■お客様紹介：
當麻パスト会長

◆ゲスト：
多摩分区ガバナー補佐
橋本恵治様

◆ゲスト：
多摩分区分区幹事
斉藤富美男

■会長報告　野村会長

鮎の塩焼きを食べる会に参加して

8月29日（木）に秋川ＲＣ主催の「鮎の塩焼きを食べる会」に参加してきました。当日の4時頃ＪＲ福生駅西口に三三五五ロータリアンが集合し始めて、秋川ＲＣ手配のマイクロバスが到着し、町田会員が出欠を確認した時点で、バスは満席となり、福生駅を出発して途中から乗車してくる会員は、補助席に座るような混雑振りでした。当クラブからは、戸澤ご夫妻、隅屋ご夫妻、村越さん、村田さん、私と広澤君の8名で行ってきました。そのほかにガバナー補佐、分区幹事、福生地区の会員とその他大勢という参加者で満席でした。約50分程かけてＪＲ武蔵五日市駅の奥にある瀬音の湯のちょっと先にある「森林村」に到着しました。ここは、ログハウス・コテージを経営していて、付属設備としてバーベキューハウスを持っていて、そこで秋川ＲＣの移動例会となっていました。お客さんで約30名そして秋川の会員と奥様で同じように30名程度で総勢60名の会となり、我々お客様は腰掛けて食事を楽しみましたが、秋川の方は昼頃から鮎を焼いていたとの事でその頃から飲んでいて、出来上がっている方もチラホラいて、バーベキューハウスに入りきれずに外で騒いでいました。鮎と秋川牛そして地元のおいしい野菜おいしいビール等を充分に堪能した一晩でした。後日談として、当日元奨学生の広澤君を連れて行って一緒に楽しんだ席に、福生ＲＣの岸野さんが居て、広澤君に卓話を頼みたいとの事でした。そして、調整がついたので昨日福生ＲＣへ広澤君を連れて行き立派に卓話を済ませてまいりました事をご報告いたします。

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／田中　重義
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500　FAX　042-395-1166

総合開会式・炬火採火式に参加して

皆さんこんにちは。9月1日(日)に東村山市民スポーツセンターにおいて、市民体育大会の総合開会式と、その後国民体育大会の炬火採火式に参加してきましたので、お話したいと思います。東村山市民体育大会は、今年で第50回目の開催でした。市民スポーツ振興を提唱してから50年と言う歳月を経て、今もなお生涯スポーツを推進する最大のイベントとして、継続してきて市内各所において、多くの市民参加のもと各種大会が開催されます。当日の総合開会式は、入場行進だけで45分近くかかり、行進曲にあわせて手を叩いていましたが汗だくになり流石に疲れました。その後幾つかの行事を済ませ最後に4中・都立東村山高校・西高校の吹奏楽演奏で終了ですが、でも最近までは、屋外の運動場でやっていたとの事で具合の悪くなる方も居たのではないでしょうか。続いて第68回国民体育大会の炬火採火式が行われ古式ゆかしい火起し方法で、聖火のトーチに移し変えられて終了でした。普段あまり気にしていなかった行事ですが、今年は国体と合わせて実施したことで注目されたと思います。そして、老若男女が式の運営に積極的に関わっている状況がとてもよく感じられました。その中で市民ゴルフ部門で、荻野会員が胸を張って行進しているのが印象的でした。

■幹事報告　石山幹事

■ガバナー事務所：
・アンケート協力のお願いについて
(恒久基金/大口寄付アドバイザーからの依頼)
・アンケート、恒久基金/大口寄付用説明書の受理
↑樺澤R財団委員長へ
・アンケート締切：9/13(金)

・2012～13年度地区決算報告書の受理

■R情報研究会：
ロータリー情報冊子の案内の受理
(会員研修委員会にて購入の検討をお願いします)

■職業奉仕委員会：
2012～13年度ＲＩＤ2580
職業奉仕「年次報告書」の受理
(冊子を山本前年度委員長確認後に回覧します)

■R米山記念奨学会：
特別寄付感謝状の受理
野崎一重会員　マルチ7回目特別寄付の感謝状

■東村山青年会議所：
東村山青年会議所創立40周年記念式典の案内の受理
2013年10月17日(木)　18:30～
於　ベルホール

■東村山市：
第50回東村山市民体育大会総合開会式出席の礼状の受理

■青少年奉仕委員会：
「青少年奉仕情報」創刊号の受理
地区内青少年奉仕活動の共有と各クラブの青少年奉仕活動の充実の為「青少年奉仕情報」を発刊

■(財)バギオ基金：
第1回感謝状の受理

■出席報告　北久保例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
30	22	0	6	78.57

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名
■前々回出席率メークアップ修正後：89.66%
■前々会メークアップ者：
北久保会員：東京東大和ＲＣ
村田会員：お茶の水ＲＣ
漆原会員：東京清瀬ＲＣ
山宮会員：東京立川ＲＣ

■ニコニコＢＯＸ　野村(裕)クラブ管理副委員長

◆野村会長、石山幹事：
橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、ようこそお越しくださいました。本日のクラブ協議会で発表される皆さん、頑張りましょう。
◆野澤会員：橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、ようこそ東村山へ。ガバナー公式訪問よろしくご指導お願いします。益々のご活躍を期待します。
◆當麻会員：ガバナー補佐橋本様、分区幹事斉藤様、よろしくお願い致します。
◆山本会員：橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、ようこそいらっしゃいました。本日はよろしくお願い致します。

◆町田会員：先日のＦＲＣゴルフコンペにてベスグロの田中、清水会員を差し置いて優勝してしまいました。お二人のプロごめんなさい。
◆野崎会員：橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、今日はよろしくお願いします。
◆田中会員：橋本ガバナー補佐、斉藤分区幹事、お疲れ様です。昨夜の炉辺会合は大変勉強になりました。ありがとうございました。ＦＲＣゴルフでは、町田さん優勝おめでとうございます。大勢の皆様に参加して頂きありがとうございました。次は分区の大会です。頑張ってください!!
◆金子会員：花火大会の写真ありがとうございました。田中さんお世話になりました。

本日のニコニコ合計：　21,000円
累　　計　：　432,574円

■表彰

■米山功労賞
マルチ7回目特別寄付の感謝状：
野崎会員

■委員長報告

■山本前年度職業奉仕委員長

委員長報告としてご連絡させていただきます。本日の例会が終わっておりませんが、来週のガバナー公式訪問では、例会運営委員会の方と、クラブ管理の方は、誠に申し訳ありませんが10時に例会場の方へ、集合頂きまして準備をしたいと思いますので、お忘れの無いようにお願いします。後ほど事務局からＦＡＸを入れて頂くようにしますので、よろしくお願いします。

■クラブ協議会

■多摩分区ガバナー補佐
橋本恵治様

多摩分区ガバナー補佐の橋本でございます。今回の吉田ガバナーは何事においても全てレッツチェンジということがテーマでございます。おかげで地区大会の全てのものを今迄の決まったホテルから別の所に集っていくような形で、あらゆるものを変えようという主旨のもとに、今回この様な公式訪問前のガバナー補佐の訪問というのも、吉田ガバナーの意向でございまして公式訪問時には各クラブ特色のある話の中に色々意見を公開したいと、通常の各委員会の発表はガバナー補佐が聞いておけということで、私は、公式訪問よりも今日のお話を聞いて報告しなくてはならないということで、宿題が大変ですけれども、一番緊張しております。ひとつよろしくお願いいたします。

■多摩分区分区幹事
斉藤富美男様

皆様こんにちは。分区幹事の斉藤と申します。日頃いつもお世話になっております。いつもついてまわっているだけですので、今日は勉強させて頂きたいと思います。

■山本前年度職業奉仕委員長

皆様こんにちは。まず、橋本ガバナー補佐と斉藤幹事がいらっしゃってますので、今回覧しております、職業奉仕委員会の昨年度の活動をまとめた分厚い本が回っていると思います。この中の207ページと301ページに東村山ＲＣのことが載っております。まず、207ページは武蔵村山の藤野会員が職業奉仕について、産業からの転職についてお話していただいたご記憶もみなさんあるかと思います。その時の週報がまるまる207ページから載っております。301ページには、3分間スピーチの集大成が表紙だけ載っております。昨年、皆様にご苦労を頂き、お話頂きました内容を掲載するにはスペースが無く、こういうことを東村山はやっているんだよ、ととりあえず表紙を載せさせて頂きましたということで中村職業奉仕地区委員長からの御返事がございました。私は素直に3分間スピーチをやって頂ければ嬉しいということでやらせて頂きましたが、非常に各クラブさん、色んな方法で職業奉仕の分野でやられております。そのことが全部この本に載っておりますので、この事務局に1冊とあと私のところに1冊来ていますので是非読まれたいという方はお声がけください。お貸し出しします。
昨年度やっていました3分間スピーチについて、何故か？ということを簡単にお話したいかと思います。人の前で話をするとき長い話は飽きてしまいますし、聞いていないし5分を超えてしまったらその方が何を話しているかほとんど記憶にのこんないんだよということを言われました。3分というのは長いんですけど、短い

んですね。最初に1分で余分な話をしてしまいますと、伝えたい内容を話す時間がなくなってしまいます。結びの言葉を述べようとすると「チーン」と時間がきてしまいます。限られた3分間の中で,皆さんに伝えたいことを集約してまとめて皆様の心に言いたいことが届くか、非常に勉強になるし、良い経験になるということです。話は長ければ良いということではないと言う方もいます。確かに長いキチッとした話をしなくてはならない時もあるかもしれません。起承転結でやはり、この3分間の中で、いつどこで誰が何をしたかを盛り込んで相手に自分の気持ちを伝える、非常に難しい中でのこれをマスターすれば話の達人になれると思います。私はそう思いまして、職業奉仕のひとつの話をする勉強かと思い、昨年度中村地区奉仕委員長も賛同の上やらせていただきました。皆さんも快くやっていただきまして、順番を決めていった中で突然休まれて順番が狂ってしまったとか、大変皆様にご迷惑かけてしまいましたが、最後まできちんとおつきあいいただきまして、改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

今日はこの冊子の中でお話された方もいますので、大変ベテランの先輩と最近入られた若い方と1名づつご紹介をして私の今日の話と代えさせて頂きます。一番最初は私が3分間スピーチをやりますと手をあげていただきました、隅屋会員の話をあげてみたいと思います。

先月の7月5日第一例回中の中丸新会長の会務報告で土方さんが退会されたということを知りました。私は土方さんに時々、身の上話など聞いていただいている仲なので非常に寂しい思いでびっくりしました。次の朝電話をしました。土方さんは「俺は隅屋の次の長老だ。ジジイがロータリークラブに居ては会の発展がない。俺は地域社会のことが忙しいので退会したんだ。」、「すみません。では年寄りの隅屋はどうしたら良いんだ？」と伺いましたが、少し考えた後、「おまえはロータリーを楽しんでいるから続けても良いんだ。また電話を待ってる」とほっと致しました。そのような訳で隅屋はすみっこで皆様の迷惑にならないように努力をしますので今しばらく在籍させてください。スピーチを終わりますありがとうございました。と、大変控えめなスピーチを頂きました。これからも益々元気でご活躍を頂きたいと思います。それと、新しく入られた方のスピーチも読んでみたいと思います。

こんにちは。沖縄の時に當麻さんに色々とお世話になりありがとうございました。今日は3分間ですが歌でも歌おうと思ったのですが、だいたい1番と2番と歌うと終わりですよね。先月もらった小冊子に温故知新と書いてありましたが、すごく良い言葉だと思います。これからも温故知新で頑張ろうと思っております。私はこのところの半年間で色んなことがありました。皆さんご承知のとおりで腕を折る腰を折る骨は折るで母親も亡くしました。この前49日を終えましたが、浄土にいくまでの日にちが49日らしいですね。1週目で三途の川をわたって、5週目で閻魔大王の洗礼を受けなくてはならないそうです。ロータリーの皆様は良いことしかしていないので浄土に行かれると思いますが、私も浄土に行けるように頑張りますので、これからもよろしくお願いします。今日はありがとうございました。

という荻野会員の3分間スピーチでございました。非常に大ベテランの隅屋さんと荻野さんのスピーチ、長さは一緒ですが、内容も捉え方も違ったところがあるのではないかと思います。これを皆さん読んで頂けたら、他の方の色んな気持ちも出てくると思いますので、是非またこれを機会にご一読頂けたらありがたいです。これで私の本日の話に代えさせていただきます。どうもありがとうございました。

■発表者：清水会員

先日石山幹事から、これを読むようにと言われましたが、発表したものを読み返すとあまりにも恥ずかしいことばかりなので、今日はその2を言いたいと思います。

自動車の修理をするようになって30年になります。その前はテクニック系のミュージシャンを夢見て、練習をしていました。ヤマハの講師をしたり、技術的に優れたドラマーを目指していました。収入が少ないので、アルバイトでもと思い、どうせなら多少なりとも父の手伝いになれたらと思い、軽い気持ちで車をいじるようになりました。見よう見まねで手伝いをしているうちにこの車を直してみろと任され父はどこかへ行ってしまう。何とかしなけりゃと一生懸命頑張り失敗に失敗を重ね車を仕上げてみると、とても満足感があり嬉しい。次はもっと綺麗にと思うんです。その次はもっと、もっともっとと、夢はどっかに行ってしまい自動車屋さんの出来上がりです。父の策略にはまったのでしょう。

利益を度外視し、仕上がりを重視でもっともっと綺麗にとやり続けて現在に至っています。それが最近ではゴルフがもっともっと上手くなりたい、と気持ちが強くなっています。仕事と違い、もっともっと努力してもちっとも上手くなりません。レッスン書を読んだりレッスンを受けたり上手な先輩の話を聞いたり(上手な先輩とは田中さんです)いくら努力をしても難しいですね。でももっともっと上手くなりたいです。

そしていつの日かもっともっともっともっと奉仕をという日が来ますかね？以上3分間スピーチです。

■発表者：北久保会員

皆様こんにちは。主に仕事の話をさせて頂くんですが、今週の日曜日、感動的な朝を迎えましたね。午前5:20ジャック・ロゲ会長が「2020 ＴＯＫＹＯ」と言った瞬間、「ワーッやったー」と言ってかみさんが起きてしまいました。今、「おもてなし」で滝川クリステルさんがはやっていますね。6人のプレゼンター素晴らしかったですね。2020年、56年ぶりにまた日本でということですね。前回は昭和39年1964年の10月10日で体育の日となってますが、あのオリンピックの朝、きれいに晴れましたよね。あの頃は本当は一番良いのでしょうけどね。結局夏に2020年7月24日から17日間、前回の東京オリンピックの時に私は高校1年でございました。久我山高校に入りました。すぐに放送部に入ったのですが、その放送繋がりで國學院大學のアナウンス研究会に入りまして素敵なアナウンスの勉強をしてきました。そのままできたての広域財団法人日本道路交通情報センターに採用されました。幸い東京で採用されたから私が長男で地方に行かなくてすみました。好きな仕事と家を守ることができました。年間30万回という道路交通情報をＴＶとラジオで提供させて頂きました。42年間努め

て今年の3月退職させて頂きました。その間に行ったことというのは、ＴＶとラジオ。ラジオは何気なく聞く1分間。あれは自分たちが決めてるんじゃないんですね。放送局側が次の時間は30秒でお願いします、40秒でお願いしますと。ですからたくさん情報があるときに短く言葉を端折らなくてはならなくなります。逆にネタが少ない時に、2分間やってくれと言われることもあるのです。時間に対しては秒刻みの生活をしていました。早番も朝4時に起きたり夜勤もありました。3.11の東日本大震災の時は私は職場でグラグラ揺れたんですけども、その時は夜21時まで電話が不通だったのです。それから電話が鳴って一晩中眠れないで電話を取っていたのです。私が今まで見てきた交通情報のパネルに赤いランプで渋滞が出るんですが、登りも下りも渋滞がついたのは初めてで、全く動かない。電車がストップで町に車があふれました。そんな状況で今でもよく覚えております。

短い持ち時間の中で何を伝えるか。一番言いたいことを言いなさい。これを学んできました。ちょうどＴＶで若い女性が担当して、その顔はニコニコしてるんですけど、水戸光圀の言葉に「ただ見ればなんの苦も無く水鳥の足にくまなき我が想いかな」と、白鳥が優雅に泳いでいるが水面下ではバタバタやっている。つまり心の中は滅茶苦茶なんですね。その思いで情報を伝達しているんですね。そういうのをちょっと汲み取っていただけると幸いです。後、電話案内に関してですが、皆さんの携帯で＃8011これでかけていただければ所要時間はわかります。野口橋から大ガードまで55分とか出てきます。

■野澤職業奉仕委員長

皆様こんにちは。先ほど北久保会員からオリンピックが決まった話がありましたが、私も5時に起きてたんですけれども、たまたま起きてたのは町民運動会というのがありまして、曖昧な場合は6時に招集かかりますからといって体育委員長から言われまして、何時に電話がくるかと思って待機していました。眠れぬ想いで一晩過ごしていたんですけども、その理由の一つは町民運動会で私が自治会長で大会地故郷の大会委員長のファンだということなんですね。ですからその1つの悩みと、もう一つはオリンピックがどこに決まるのかというその思いで半分半分ぐらい。うとうとして夜を過ごしたということなんです。5時に起きてＴＶ点けたらしばらくしてロゲ会長のシーンが流れまして、私は思わず飛び上がって喜ぶんじゃなくて、起きてきた女房に伝えると、あなたも7年後はオリンピックを見られるように頑張ってねと言われました。どうですかね。確かに考えてみると親父が79歳で亡くなってるんです。あと7年後は78歳になっているんで、もしかしたら親父より先に逝ったら次のオリンピックは見られないかも知れないんです。実はその後、6時頃招集がかかったのですが、運動会は予定どおり行おうとなったんですが、開会式9時に始まって、大会委員長の挨拶が回ってきまして、今の話をそっくりいたしました。会場大うけでした。若い人たちには7年後是非目指していただいて、出場できるかどうかわからないけれども、頑張って欲しい。私たち年寄りは元気にその観戦ができるように頑張りましょうということでお話をしました。他の方もその話ばかりでとても記念の1日になりました。

昨年度の職業奉仕委員会では、ちょっと趣向を変えて3分間スピーチということでこういう修練の場を提供して頂きました。今年はそんなことがありまして、久しぶりに研修を多くやりたいということで、事業計画の中にも職業奉仕はロータリーの中でも金看板で、まず職業奉仕、社会奉仕や国際奉仕の奉仕とはなんぞやという、そういう原点をさぐってみようとそんなことを概要には書かせていただきました。

先日、小町情報委員長と一緒に新人7名を対象にして、第一回の炉辺会合を行いました。これはロータリーのロの字を知ろうと言うことで東村山で作っているロータリー入会者の為のマニュアルのおさらいをしたのですけれど、まずは第一歩の勉強を致しました。次回10月3日は職業奉仕月刊ということで、私も卓話の担当になりますのでその辺から第二回目の研修会に入っていきたいと思います。そして前期中にもう二回後期中にあと二回、都合四回ないし五回のセミナーを開く予定ですので、よろしくお願いしたいと思います。

実は立正佼成会の毎月出されております会報に庭野日鑛という会長が9月の法話の中で、与える喜びということでお話をされています。実はこれを見て私ぞくぞくするような、発見と出会いを見つけたんです。といいますのは、一つ目は伝教大師「最澄」という人は己を忘れて他をいする、ということを慈悲を実践する極みと言われています。この最澄という人は何年代に活躍したかということは書いてありませんけれども、相当昔だったと思います。

もう一つはインドの古い書物に「他人に利益を与えたからと言って、傲りも誇りも報酬も期待しないなぜならそれは自分を楽しませているにすぎないからだ」という言葉があるそうです。人に利益を与えた時、そこには他では到底味わえない楽しみや喜びがあり、どんな賞賛や損得勘定も超えるということでしょう。これまさにアーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した奉仕の哲学「最も多く奉仕する者は最も多く報いられる」。そしてロータリーの奉仕はルールがありません。ゴールの見えない奉仕の理想を求めてどこまでも進んでいくという、そしてその奉仕は与えた人に対して何も求めない。私が青少年交換委員長を務めさせて頂いた時に何人かの子供たちと話したことがあったのですが、野澤さんいつまでロータリーやってるんですか？と聞かれたときにロータリー活動には終わりは無いんだよ。皆さんに研修の場は与えるけれどもそれを感じ取ってどう生きていくかはあなた方次第なんだよ。ロータリーは決して見返りは求めないんだよ。そんな話をしたらロータリーってすごいですねーと。そんな時にロータリーをやっていて良かったなーと冥利感を感じたものでありました。そんなこと職業奉仕に関する資料はたくさんございます。先ほどの様にロータリーの金看板と言われることであります。1997年～98年度、2790地区・千葉県ですけれども、ここの地区職業奉仕委員会主催のロータリーにおける職業奉仕シンポジウムが開かれました。資料集めで見ておりましたら、なんとこの資料だけでありまして、私も確か参加したなと思いましてこの時のシンポリストがもう亡くなった我がクラブの阿部士良大先輩です。それから関西の深川純一さん。それから九州のサホリョウゾンさん。3人の方がここの職業奉仕について述べています。私は次の研修の時には昔活躍した阿部先生の本を読んでみると全く新な気持ちで職業奉仕の勉強ができています。阿部先生の色んな冊子を紐解きながら今年は職業奉仕について研究

したいと思いますが、特にその次には深川純一さんの貴重なお話があります。その一部を紹介して終わりたいと思います。

ロータリーは毎週1回の例会になぜ参加しなくてはならないのか、その根本の理由がわかっていないといくら例会に出て来い出て来いと言っても出席状況は良くなりません。従って、ロータリアンである限りはなぜ自分はロータリアンなのかという根本のところを徹底的に肝に据えておくことが一番大事なことであり、職業奉仕を理解する大前提となるのであります。ロータリアンになった以上は自分はこんなに忙しく他にたくさんの楽しみもあり、さらに人生の色んな目的があり、なぜ自分はロータリアンなのか？そこの根本の理由を徹底的に腹に据えておかないと何をやっても無駄なことになろうと思います。と書いてあります。

色々話し長くなりますけれども、ロータリーの4大奉仕そのトップにはいつもクラブ奉仕があります。だから、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕にしてもクラブ奉仕無くして後は続いていかないということであります。それはなぜかというと、親睦と奉仕もそうであります。クラブをもってクラブの仲間同士が親睦を深めクラブ奉仕をして研修を深め、それから社会奉仕国際奉仕へと発展していく。要するに職業奉仕の根本は心を磨くことに尽きるということであります。毎週毎週の例会に出て心を磨いてそしてロータリー運動というのは原理運動、道徳運動ですので、その胸に道徳を学んで自分を高めていくこういうことだという風に書いてあります。研修のさわりをお話としまして私のお話とさせていただきました。ありがとうございました。

■講評：
多摩分区ガバナー補佐
橋本忠治様

今日で私は公式訪問前の準備として4つ目のクラブになります。

まず、東村山さんの冊子を作るということ。全てが職業奉仕を前面に出してやっているというこれも一つの面白いやり方だなと思いました。他のクラブにはここまで特徴のある職業奉仕1本に絞ったものはちょっと見受けられませんでした。このようなやり方で公式訪問の時是非この流れの中でやってみるのも特徴あるクラブの一つのあり方かなと思ってますので是非これに一層の磨きをかけて次週の公式訪問を開催していただければありがたいと思っております。

職業奉仕は今の言葉の重複になりますが、木に例えますとクラブ奉仕は根っこだと、そして幹になる部分が職業奉仕だと、そして社会奉仕国際奉仕が枝葉となって、そして実となり会員増強含め拡大していくんだということをよく言われますが、本当にロータリーの一番の全面に出る職業奉仕を中心に的を絞ったこの進め方に私も感心させられました。次週の公式訪問を楽しみにしております。

このくらいにして講評を終わらせて頂きます。

■閉会点鐘：野村会長

■25年8月出席表

	氏　名	1	8	15	22	24	
名	細渕　一男						
1	相羽　正	○	○		○	○	100
2	赤木　盛一	○	○		△	○	100
3	飯田　能士	△			○	○	75
4	石山　敬	○	○		○	○	100
5	樺澤　襄	○	○		○	○	100
6	金子　哲男	○	○		○	○	100
7	北久保隆一	○	○		○	△	100
8	小町　幸生	○	○		○	○	100
9	村田　秀雄		△		△		50
10	中條　基成	○	○		○		75
11	中丸　繁男	○	○		○	○	100
12	野村　高章	○	○		○	○	100
13	野村　裕夫	○			○		50
14	野崎　一重	△	○		○	○	100
15	野澤　秀夫	○	○		○	○	100
16	荻野　昇	○	○		○		75
17	嶋田　憲三	○	○		○	○	100
18	清水　啓量	○	○		○	○	100
19	田中　重義	○	○		○	○	100
20	當麻　誠	△	○		○	○	100
21	戸澤　忠	○	○		○	○	100
22	漆原　次男		△		△		50
23	山宮　隆	△	○		△		75
24	山本　智治	○	○		△	○	100
公式平均		92.86	93.10	休会	100	89.66	94.91
出席規定適用免除者							
1	隅屋　宜一	○	○		○	△	100
2	五十嵐光利	○	○		○	○	100
3	神崎　武						
4	村越　政光	○	○		○	△	100
5	町田　清二	○	○		△	△	100
6	目時　俊一		○				

名：名誉会員　○：出席　△：メークアップ